

松茸 掌を内側に上にさした五指の指頭を集め合わせた左手の上に右手掌を傘のようにして被ぶせる。松茸の形をつくる。

まで 「終り」と同じ手まね。
的 「揭示」と同じ手まね。

惑う 心——迷う。

免る 逃がれる——やれやれ。

真似 五指の指頭を上にさし掌を前向けにした右手を、前方から五指の指頭を集め合わせながら額の方に引き寄せて、最後に額の上につける。他人のする事を頭に入れて真似すること。

学ぶ 習う——勉強。

招く 「呼ぶ」即ち、手招きする身振。

豆 親指と人差指で輪をつくって、他の三指の指頭を前方にさした両手の掌を向い合わせ、交互に両手を上下させる。

迷う 五指の指頭を右にさし、掌を前向け

にした右手。五指の指頭を左にさして掌を前向にした左手、夫々左右の腹脇のところから交互に左右に出して往復させる。右にしようか、左にしようか迷う姿。

稀れ 「少し」と同じ手まね。

万一 (1)「仮りに」「若しも」と同じ手まね。(2)数の「万」を表わし、次にその下に「一」の数を表わす。

満足 「あきらめる」と同じ要領の手まね。即ち、五指の指頭を上にさし掌を右側にした右手を左胸上につけ、そのまま斜め下にすり降して行く。

慢心 心——自慢。

万年ペン 右手でペン軸を持った指の姿態で、上下にふって(イントを出す)文字を書く真似。

満腹 五指の指頭を左にさし掌を内側にした右手。五指の指頭を右にさし掌を内側にし

た左手、その両手を腹の前にして、腹のふく
れる様を表現するために両手を前へ出す。

III

身内 「親戚」と同じ

味方 五指の指頭を右にさし、前向けにし
た左手掌に、五指の指頭を左にさし内側にし
た右手掌をびったり胸の前でつけ合わす。

見切る むつかしい―諦らめる。

見事 感心―腕前。

未婚 結婚―まだ―独り。

湖 「池」の手まねの表現を大きく。

見知らぬ人 「他人」と同じ手まね。

水 (イ)五指の指頭を左にさし掌を上向けた
右手の五指を波打たせながら左から右へと流
して行く。(ロ)五指の指頭を上をさし掌を左に
向けた右手を右頬すれすれにして、前後に僅

かに動かす。

店 五指の指頭を前方にさし、掌を上向け
た両手を前で左右につけて並らべてから、両
手を左右に離して行く。物品を前に展げたこ
と。

未成年 齡―二十一―未滿―人々。

晦日 (イ)月―終り。(ロ)年―終り。

乱れる 掌を上向けた左手に、掌を下向け
た右手の両手を上下に向い合わせ、交互にぐ
るぐるとかき廻わす。乱れ混雑の状態。

道 五指の指頭を前方にさし掌を左に向け
た右手、五指の指頭を前方にさし掌を右に向
けた左手、この両手を平行にして前方へ道の

くねりを表わして行く。

未知 (イ)「全く知らぬ」の手まね。(ロ)「未

知の人」「他人」と同じ手まね。

道程 道―遠い―いくら(数)。

皆 「凡て」と同じ手まね。